

Information

**環境省「製品・サービスのカーボンフットプリントに係るモデル事業
(業界団体・企業群支援)」への参加について**

株式会社ファイントゥデイ（本社：東京都港区、代表取締役 社長 兼 CEO：小森哲郎）は、環境省が実施する「製品・サービスのカーボンフットプリントに係るモデル事業（業界団体・企業群支援）」（以下「本事業」）へ参加します。日本化粧品工業会および当社を含む会員7企業とともに、業界団体による温室効果ガス排出量（カーボンフットプリント：以下「CFP」）の算定ルールの共通化を推進していきます。

■本事業の背景・取り組み内容

消費者が積極的に脱炭素に貢献する製品・サービスを選択できる社会を実現するためには、製品・サービスのライフサイクル全体におけるCFPの「見える化」を進める必要があります。

これらの達成に向けて環境省は、業界団体や企業群によるCFPの算定・表示に関する共通ルールの策定支援として本事業を実施しており^{※1}、このたび日本化粧品工業会および当社を含む会員7企業が、参加団体として採択されました^{※2}。

本事業を通じて、化粧品事業者が自らの排出量を把握し、削減に向けた具体的な行動を取るための基盤を整備していきます。また環境負荷の低減と品質の両立を追求することで、持続可能な社会の構築と、消費者に信頼される製品づくりを推進していきます。さらに、国際的な環境課題への積極的な対応を通じて、持続可能な価値創造にも取り組んでまいります。

■ファイントゥデイグループのサステナビリティ活動について

当社グループは、「世界中の誰もが、素晴らしい一日を紡ぎ、いつまでも美しく、豊かな人生を送れるようにする」というパーパス実現に向けて、2030年までに取り組む重要課題として、4つの領域（ガバナンスの原則、ピープル、プラネット、共栄）を柱とするマテリアリティ「Fine Today & Tomorrow」を制定しています。

「プラネット」では気候変動への対応を重点分野と定めており、CFPの削減に積極的に取り組んでいます。一例として2030年までに2021年比で自社の温室効果ガスの排出量を42%、バリューチェーンを含む間接排出量を25%削減する目標を設定し、SBTイニシアチブによる「1.5°C目標」の認定を取得しました^{※3}。また、ベトナム工場施設の屋根に太陽光パネルを設置^{※4}するなど、CFP削減の具体的な施策を推進しています。

今後も当社グループは、事業活動と地球環境の保全を両立し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

- ※1 2025年6月5日付 環境省「[「製品・サービスのカーボンフットプリントに係るモデル事業（業界団体・企業群支援／地域人材育成支援）」への参加団体・企業等の決定について](#)」
- ※2 2025年7月28日付 日本化粧品工業会「[日本化粧品工業会、環境省「製品・サービスのカーボンフットプリントに係るモデル事業（業界団体・企業群支援）」に採択](#)」
- ※3 2024年1月15日付「[当社の温室効果ガス削減目標が SBT イニシアチブの認定を取得](#)」
- ※4 2024年3月29日付「[ベトナム生産拠点における太陽光パネル設置のお知らせ ～ファイントウデイグループ施設における初の設置～](#)」

<関連 URL>

ファイントウデイのサステナビリティ：<https://www.finetoday.com/jp/sustainability/>

サステナビリティレポート：<https://www.finetoday.com/jp/sustainability/sustainability-report/>

<公式 note 関連記事>

ストップ気候変動！温室効果ガス削減に取り組む、環境グループのお仕事：

<https://note.finetoday.com/n/na2af5e9a44e6>

EcoVadis でゴールド獲得！ファイントウデイが推進するサステナビリティ経営とは？：

<https://note.finetoday.com/n/ndb261cd00b80>